

本事業における介護施設の戦略

本事業における介護施設は、バンコクにおけるミドルからアッパーレンジのターゲット層を狙い、日系事業者によるリハビリサービスの提供と、Navamin9病院との医療連携を特徴として集客を行っていく。バンコクにある既存の介護施設のサービス水準と単価を鑑みるに、当該構想に無理はないと考えられる。但し、以下2点については留意が必要となる。

① バンコクにある既存の介護施設であるAEC Healthy CenterとRiei Nursing Homeはミドルからアッパーレンジのターゲット層を狙っているが、稼働率が比較的低い。これは施設・設備の品質がターゲットを考慮した水準に届かないことが主因と推察される。従って、本事業では施設・設備の設計を十分に行うことが重要と考えられる。

② Navamin9病院と医療連携を行い、利用者の紹介等を受けるビジネスモデルであるため、本事業における介護施設はハイエンド向けとなるのは難しい（Navamin9病院はタイの富裕層が通う病院ではない）。しかし、エフビー介護サービスや石井会といった日系事業者が参画するため、ローカル企業よりはコストが大きくなる。従って、ある程度の事業規模を持たないと、採算は確保できないと予想される。